

【競技の条件】

1. ゴルフ規則：日本ゴルフ協会のゴルフ規則及び本競技の大会ローカルルールを適用する。
2. 競技委員長の裁定：競技委員長は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員長の裁定は最終である。
3. 使用球の規格：競技者の使用球に制限はありません。ただし、マジック等で選手名またはマークを記入すること。
4. 使用クラブの規格：競技者の使用クラブに制限はありません。ただし最高限度は 14 本とします。
5. 順位の決定：初心者でも上位入賞可能なダブルペリア方式を採用します。順位でタイが生じた場合、西コースのカウントバック方式とする。
6. プレーの一時中断と再開及び、終了ホールでの競技の成立：落雷の危険等で競技を一時中断する場合は、サイレン等で合図（1 回鳴）をするので競技委員の指示に従うこと。また、競技の再開の合図は 2 回鳴とする。なお、悪天候により、プレー途中であっても OUT/IN スタートに関わらず、全員が終了したホールでの競技終了もありえます。
7. 距離測定器具等使用の禁止：正規のラウンド中、いかなる距離計測器等の機器の使用は不可とする。
8. 競技終了時点：競技委員長が順位表に確認サインをした時点をもって終了したものとみなす。

【大会ローカルルール】

1. 何度も空振り等で進行を妨げられる場合、同伴マーカの助言を受け、そのホールをギブアップすることができる。またはギブアップしなくてはならない。（ギブアップ時のスコアは $PAR3 \times 3 \text{ 倍} + 1 = 10$ を上限とする）
2. バンカーその他脱出が不可能と思われるトラブルの時、チームはアンプレアブル宣言をすることができる。その場合ペナルティ（1 打罰）を加算し、ホールに近づかない場所にティーアップ、またはドロップして打つことができる。
3. グリーン上でのパッティングにおいて、3 打でもカップインしない場合、1 打を付加しホールアウトとすることができる。
4. アウトオブバウンズ（OB）の境界は白杭をもって標示する。なお、OB に球が入った場合、特設 Tee（黄色マーク）から第 3 打目としてプレーしなければならない。（このルールに従わなかった場合、ギブアップと見なしそのホールは 10 打とする）
5. 樹木の支柱、道路、人工施設物 は打てるところから 1 クラブレンジスにドロップすることができる。
6. 修理地の区域は青杭を立て白線をもってその限界を標示する。その区域にボールがある場合、無罰にてホールに近づかないスルーザグリーン（ティグラウンド・バンカーや池等のハザード・グリーン以外）上から打たなければならない。
7. スルーザグリーンでは、球がその勢いで地面に自ら作った穴（ピッチマーク）に球がくい込んでいる場合は、その球を罰なしに拾い上げて拭き、ホールに近づかず球の止まっていた地点にできるだけ近い所にドロップすることができる。
8. グリーン上はパター以外のクラブの使用を禁止する。（このルールの違反は、そのホールを 10 打とする）
9. クレームは正当な場合を除き受け付けない。ただし、キャディは同組のみの質疑その他を競技委員会に申し出ることができる。
10. 諸事情により途中残りホールをギブアップする場合、マーカークャディにその旨を告げ、自分が今持っているチームのスコアカードを同伴者に渡し、試合を中止することができる。その場合、ルール上残りホールは全て「 $PAR-3 \times 3 \text{ 倍} + 1 = 10$ 」とする。